



未曾有の物価上昇で生活の危機を迎えている今こそ賃金の引き上げをはじめとした総合労働条件の向上を“みんなの力”で実現しよう

202X年12月10日 NO.04

23春闘に向けて

10月の実質賃金が前年同月比2.6%減*
(マイナスに転じた4月以降で初めて2%超え)

* 厚生労働省「10月の毎月勤労統計調査」より

岸田首相 「物価高に負けない賃上げ実現を」呼び掛け

岸田首相は、「来春の賃金引き上げの成果に、物価上昇を特に重視すべき要素」として掲げ、「物価高に負けない賃上げを実現するよう」労使に強く要請しました。

経団連の十倉会長は会見において「物価の面を重視して賃金を議論するのは当然だ」「物価をにらんだ賃上げが大事だ」と発言し、会員企業にベアを中心に検討するよう訴える考えを述べ、物価上昇分に見合う水準の賃上げに前向きな姿勢を示しています。

激しい物価上昇の中、労働者にとって賃金水準の引き上げは必須であり、23春闘（労使交渉）は非常に重大であると言えます。

経団連 企業に積極的な賃上げを要請へ

十倉会長 「物価上昇を重視して賃上げをする」と首相の呼び掛けに応じる

物価上昇が続いている今こそ、会社は**“労使の確認事項”**に踏まえてベースアップを実施するべきだ!

輸送サービス労組

“組合員の生活の豊かさ”を実現するためにすべての仲間の力を結集させて2023年賃金引上げに勝利しよう!

“生活の豊かさ” “働きがい” “生きがい”が実感できる労働条件を私たちの手で再確立しよう!

中央本部発